

第1学年4・5組 保健体育科学習指導案

指導者 教諭 大林 良太

1 単元名 球技「ゴール型（バスケットボール）」

2 単元について

(1) 本単元は、個人やチームの能力に応じて作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競うことに喜びを味わうことのできる運動である。ゴール型のバスケットボールでは、ドリブルやパスなどボールを巧みに操作し、基本的な技能や仲間と連携した動きを発展させて、作戦に応じた技能でゲームが展開することが必要であり、敏捷性、判断力、瞬発力、集中力、予測する能力などを養うことができる。さらに、チームの課題の解決に向けて、自己の考えを述べたり、相手の話を聞いたりするなど、話し合いに責任を持って関わり、攻防を工夫したり、自分の役割を果たしたりすることで、責任感や協調性も養うことができる。

(2) 1年4組（男14名）、5組（男15名）の29名は、素直で明るく元気があり、運動会の組立体操やラジオ体操の練習も意欲的に取り組むことができた。また、アンケートから「運動が好き」と答えた生徒が24名と多く、これからの学習に意欲をもっているクラスである。それに対し、少年団や部活などでのバスケットの経験者は1人もいなく、小学校の授業でバスケットボールを経験した生徒もいるが、具体的なシュートの仕方やルールなどは、ほとんど身に付いていない。

しかし事前のアンケートから、「難しいが、ドリブルやシュートがうまくなりたい」と答えた生徒が16名、「仲間と協力、団結して楽しく行いたい」と答えた生徒が10名と半数を超えており、バスケットに対してのプラスイメージの高い生徒が多い。

(3) 上記の生徒の実態やアンケートの結果から、具体物やICTを活用し授業に入りやすい環境を作るとともに、お互いの動きをチェックし合ったりしながら自分に必要な練習のポイントを見つけさせたい。また、ペア学習やグループ学習を中心とした学習形態で授業を行うとともに、協力することが不可欠な課題を設定する。そうすることにより、動きや考え（表現）を共有する場を増やし、仲間との交流を通して、表現することに慣れさせ、表現する楽しさや喜びを共感できるようにする。

3 目標

- (1) バスケットボールの基本動作のドリブル、パス、シュート、ピボットが正確にできる。
- (2) 仲間と連携し、作戦に応じた動きでゲームを展開する中で、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。
- (3) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守り、作戦や話し合いの中で分担した自己の役割を、果たすことができる。

4 学習指導計画

- (1) バスケットボールの歴史やルールを覚えよう。・・・・・・・・・・1時間
- (2) ドリブル、パス、ピボットをできるようにしよう。・・・・・・・・・・1時間
- (3) ドリブルからスムーズにシュートできるようにしよう。・・・・・・2時間（本時・・・1/2時間）
- (4) 1on1や2on2で、ゲームをしてみよう。・・・・・・・・・・2時間
- (5) ディフェンスの仕方を考えよう。「DF王は、だれだ!？」・・・1時間
- (6) 3on3で、フリーでシュートを打てるようにしよう。・・・・・・1時間

5 本時の学習指導

(1) 目標

- ・ シュートやパスなどの基本的技能を正確に行うことができる。
- ・ ペアで協力して課題に積極的に取り組むことができる。
- ・ 知識や技能を活用して自己の課題に応じた練習や運動の取り組みを工夫することができる。

(2) 学習指導過程

学 習 活 動	予想される生徒の反応	指導・支援と評価
1 準備体操をする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 怪我しないようにしっかりと動かしておこう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 突き指防止のために、指の柔軟を十分に行わせる。
2 2人1組でボールを使ってアップをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピボットは、軸がわかりにくいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歩でトラベリングになることを、意識させておく。
ドリブルからスムーズにシュートできるようにしよう		
3 ペアでレイアップシュートを発見させる。対話	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早く走ってシュートするとボードに強く当たるな。 ・ タイミングよくボールを持つことが重要だな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何も考えずに、走ってシュートを入れるよう促す。「スピード」 ・ 3段階の条件から、確率の高いレイアップシュートを見つけさせる。
4 ペアでレベル2「トラベリング」にならない正しいレイアップシュートを見つけさせる。対話	<ul style="list-style-type: none"> ・ シュートがきれいに打てない。止まってなら打てるのに。 	<ul style="list-style-type: none"> レベル1「スピード」 レベル2「トラベリング」 レベル3「ディフェンス」
5 ペアで、互いの改善点を見つけよう。対話	<ul style="list-style-type: none"> ・ 条件があると、遅くなる。 ・ 自分のシュートを見るのは面白いな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 条件を確認し、制限のある中で有効な動きを考えさせる。 ・ <u>ipadで撮影した映像をもとに、ペアで動きを確認するよう助言する。</u>
6 本時のまとめと次時の課題の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ パスからシュートができれば、ドリブルが苦手でも活躍できそうだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ うまくできた例をペアで1つ紹介して共有させ、次時への課題につなげる。 <p>④ 自己評価カードを記入させる。後日、実技テストを行う。</p>